

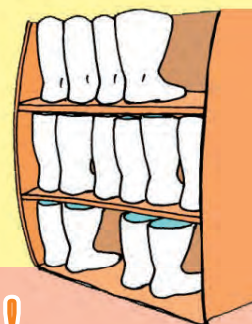
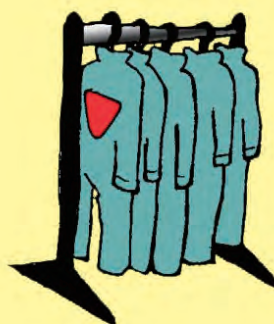
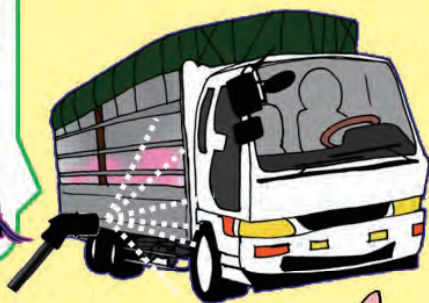
豚流行性下痢(PED)から農場を守るために

(別紙 1-1)

車

両の消毒！

農場に出入りする車両は荷台、運転席
マットなど全体を洗浄・消毒しましょう



人

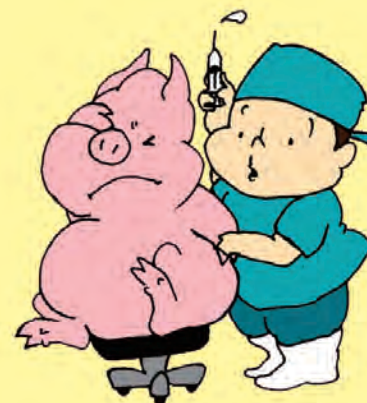
の管理！

衛生管理区域に入る場合は、専用の
衣類と履物を着用しましょう

野

生動物の対策！

農場内に入り込めない、呼び
込まないよう侵入防止の対策
をしましょう



フ

クチンの利用！

- 効果は母豚の乳を介して
子豚に伝わります
- 子豚に接種しても効果は
ありません

畜

舎の清掃・消毒！

豚の移動により畜房が空になった場合には、清掃・消毒を徹底しましょう



お問い合わせは、最寄りの家畜保健衛生所まで

北海道・公益社団法人 北海道家畜畜産物衛生指導協会

豚流行性下痢(PED)に注意!!

PEDは下痢や嘔吐を主徴とするウイルス感染症で、ほ乳豚が感染すると脱水により高率に死亡します。

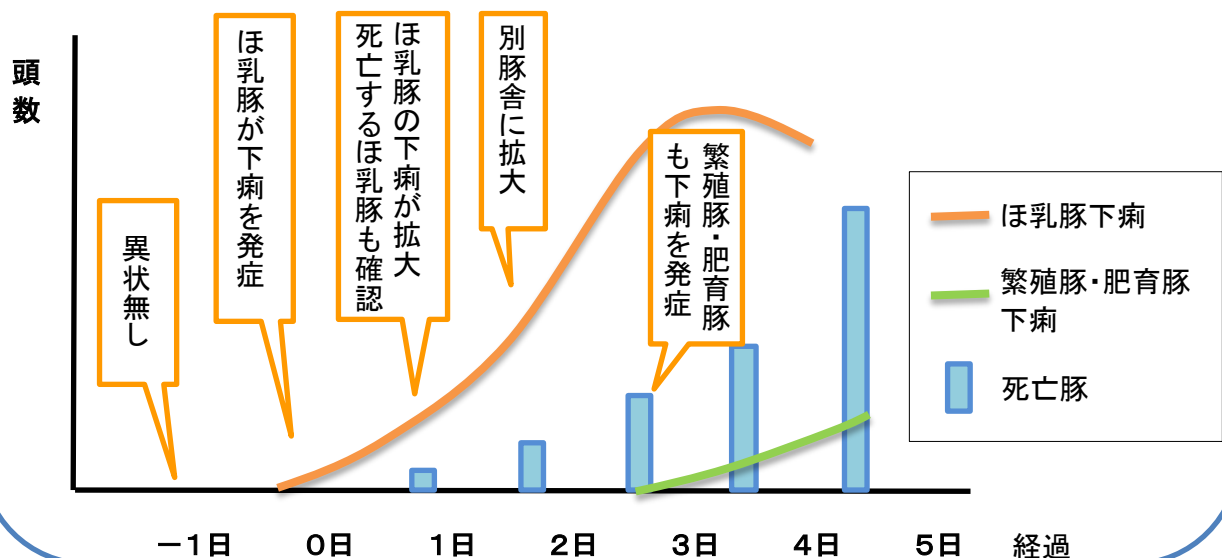
道内の発生例では、ほとんどが、ほ乳豚の下痢から始まり、その後、繁殖豚や肥育豚で、症状が見られるようになります。

発生初期では、症状を示す個体が少ない場合もあります。

日頃から飼養豚をよく観察し、異状を見つけたら、
最寄りの家畜保健衛生所まで、すぐに連絡してください。

道内で多く見られるPEDの発生パターン

- 朝、分娩舎で、ほ乳豚の一部に灰白色の下痢と黄色の嘔吐を確認した。
前日まで、飼養豚に異状はなかった。
- 母豚は、ほ乳豚の下痢便で汚れており、ほ乳豚を持ち上げると、水様性の下痢便を勢いよく排出する状況。
- 翌日には、分娩舎全体で、ほ乳豚の下痢が見られるようになり、死亡するほ乳豚も出始める。
- 2日後には、別の分娩舎にも下痢が広がり、ほ乳豚すべてが同様の症状を示し、3日後には、繁殖豚と肥育豚の一部にも下痢が見られた。



灰白色水様性下痢及び嘔吐物



黄色水様性下痢

養豚場に出入りする 人・車両の消毒について

豚の命と健康を
守るために



北 海 道

公益社団法人 北海道家畜畜産物衛生指導協会

一般社団法人 北海道養豚生産者協会

家畜の健康をおびやかす病原体の侵入阻止、排除には日頃から、こまめな清掃が大切です。

以下の事例を参考に効率的な消毒に努め、農場の大切な豚を守りましょう。

車輦消毒



これなら、みんな、できそうだ！！



車輦内部

車内は、消毒液に浸した布や消毒噴霧器等を使用して清掃しましょう

専用長靴の使用



運転席のマット消毒



ハンドル、ペダルの消毒



消毒器の携帯



車輦外部

タイヤの消毒



タイヤ周辺は、汚れが付着しやすいので、簡易消毒器やフラシを使用

作業終了時

手指の消毒



最後に、スプレー等で手指の消毒をする

畜舎出入口の消毒等



豚舎ごとの
専用長靴



作業時の
清潔な衣服



フーツ
カバー



消石灰



消毒槽は凍らないように、出入口から離れた場所に置き、汚れを水で落としてから、消毒しましょう

消毒薬の適正

消毒薬	畜舎出入口等	車輛等
炭酸ナトリウム※1	○	×(析出)
ヨウ素系	○	×(腐食・着色)
塩素系	○	×(腐食)
アルデヒド系	○	○
複合	○	×(腐食)
逆性石けん※2	○	○

○:適正 ×:好ましくない

※1:4%炭酸ナトリウム溶液を用い、消毒液の濃度を維持すること

※2:逆性石けんは口蹄疫の消毒には不適である



適正な濃度に希釈して用いましょう
消毒薬は定期的に交換しましょう


参考：飼養衛生管理基準について

家畜伝染病予防法 第12条の3 第2項

「家畜伝染病予防法」において、家畜の飼養に係る衛生管理の方法に関し、家畜の所有者が遵守すべき基準として、「飼養衛生管理基準」が定められています。

飼養衛生管理基準（家畜伝染病予防法施行規則 第21条）

- ☐ 1. 畜舎や器具の**清掃、消毒**
- ☐ 2. 畜舎に出入りする際の、**手指、作業衣等の消毒**
- ☐ 3. 飼料や水への**排泄物の混入防止**
- ☐ 4. **導入家畜の隔離**
- ☐ 5. 人や車両の**出入り制限・消毒**
- ☐ 6. 野生動物や害虫の**侵入防止**
- ☐ 7. 出荷の際の**家畜の健康確認**
- ☐ 8. 異常家畜の**早期発見・早期受診**
- ☐ 9. **過密な状態**での家畜の飼養回避
- ☐ 10. **伝染病に関する知識の習得**

 実行していますか？
今一度チェックを！！

北海道の家畜保健衛生所の連絡先

家保名	住所	電話番号	FAX
空知家畜保健衛生所	岩見沢市岡山町12番37号	0126-22-4212	0126-23-9676
石狩家畜保健衛生所	札幌市豊平区羊ヶ丘3番地	011-851-4779	011-851-4780
後志家畜保健衛生所	倶知安町字旭15番地	0136-22-2010	0136-22-1554
胆振家畜保健衛生所	登別市富浦町4丁目3番地	0143-85-3231	0143-85-1562
日高家畜保健衛生所	新ひだか町静内旭町2丁目88番地5	0146-42-1333	0146-42-0542
渡島家畜保健衛生所	函館市西桔梗町555番地13	0138-49-5444	0138-49-5446
檜山家畜保健衛生所	江差町田沢町281番地1	01395-2-0707	01395-2-4226
上川家畜保健衛生所	旭川市東鷹栖4線15号	0166-57-2232	0166-57-7626
留萌家畜保健衛生所	幌延町元町6番の1	01632-5-1226	01632-5-1165
宗谷家畜保健衛生所	浜頓別町緑ヶ丘8丁目3番地	01634-2-2106	01634-2-4340
網走家畜保健衛生所	北見市大正323番地5号	0157-36-0725	0157-36-5801
十勝家畜保健衛生所	帯広市川西町基線59番地6	0155-59-2021	0155-59-2571
釧路家畜保健衛生所	釧路市大楽毛127番地の1	0154-57-8775	0154-57-6125
根室家畜保健衛生所	別海町別海緑町69番地	0153-75-2725	0153-75-2737